

専攻医が執刀する 3 孔式並びに 4 孔式腹腔鏡下卵管妊娠手術における手術成績の検討と教育目標の抽出に関する研究

専攻医が執刀する 3 孔式並びに 4 孔式腹腔鏡下卵管妊娠手術における手術成績の検討と教育目標の抽出に関する研究

〔研究目的〕

腹腔鏡下卵管切除術は比較的難易度の低い手術であり、専攻医が執刀することも多いです。同手術は全国的に専攻医が執刀することが多いですが、専攻医の執刀における詳細な課題は検討が必要です。また腹腔鏡手術の手術方法は多数あります。当院では歴史的に 3 孔式から 4 孔式に変遷した為、同一疾患に対する異なるアプローチ方法の手術成績の検討が行えます。

専攻医の執刀することの多い手術の手術内容・手術成績の検討を行うことで、専攻医における内視鏡手術手技の課題を抽出することを目的としています。

〔研究意義〕

専攻医の執刀することの多い手術の手術内容・手術成績の検討を行うことで、専攻医における内視鏡手術手技の課題を見つけ、教育目標を明確にすることで、産婦人科手術教育の一助となることを期待しています。

〔対象・研究方法〕

1994 年から 2022 年 4 月までに、卵管妊娠に対し腹腔鏡下卵管切除術を施行した 420 件を対象とします。当院では術者は専攻医、助手は上級医により、2015 年 3 月まで 3 孔式ダイヤモンドで、それ以降は 4 孔式パラレルで行っています。3 孔式群・4 孔式群に対して患者背景（年齢、経産、血中 hCG 値、妊娠週数、クラミジア感染の有無、腹腔内出血の有無）と手術成績（出血量、手術時間、術後合併症）を検討します。解析は χ^2 検定並びに wilcoxon 検定を用い、 $p < 0.05$ を有意とします。

〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター 産婦人科

〔個人情報の取り扱い〕

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など患者さん個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんが特定できる個人情報は利用しません。患者さんからご自身の情報開示等の請求は個々に対応いたします。また、研究終了後にデータセット等を倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センターにて 10 年保管後に廃棄いたします。